

『社会科に関する直接的指導のタイプ』

本郷中学校第1学年社会科学学習指導案

1 小单元名 世界の諸地域 アフリカ

2 小单元の目標

- (1) アフリカ州に対する関心を高め、アフリカ州の持つ諸問題について意欲的に追究することができる。(社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2) 帝国主義時代の植民地から独立を果たし、厳しい環境の中、モノカルチャー経済下で暮らす人々について多面的・多角的に考察することができる。(社会的な思考・判断)
- (3) アフリカ諸国の主要生産物や経済状況、貿易の様子などを示す資料を適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりすることができる。(資料活用の技能・表現)
- (4) アフリカの経済基盤や先進国との結びつきなどを通して、アフリカの地域的特色を理解することができる。(社会的事象についての知識・理解)

3 小单元観

本小单元は、新学習指導要領「地理的分野 2 内容 (1) 世界のさまざまな地域 ウ世界の諸地域」を扱うものである。ここでは世界を州という地域区分でとらえることとされており、「州ごとにさまざまな面から地域的特色を大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させるように」授業を行うように示されている。

アフリカ州は、ほとんどの地域がヨーロッパ諸国の植民地となっていた歴史的背景から、現在も経済基盤が脆弱であり、貧困や民族対立、南北問題、南南問題等の問題が山積している。そこで、本小单元では、アフリカの特色を「モノカルチャー経済と脆弱な経済基盤、貧困からの脱却」と考えた。まず第1時では、自然と歴史的背景の観点からアフリカ州を大観し、第2時では旧宗主国との関係に注目しながら主要生産品の特色を考察し、南北格差に気付かせたい。第3時では、平均寿命を例に、アフリカの抱える問題と、そこからの脱却について考えさせる。その際、生徒の感性に訴えて、この問題への関心を高めたい。

4 指導計画(総時数3時間)

- (1) アフリカ州を大きくながめて
- (2) アフリカの主要生産品の特色
- (3) アフリカの発展をめざして (本時)

5 人権教育との関連

本小单元で育てたい能力、態度は以下の通りである。

- (1) 【知性】 本单元全体を通して、アフリカ州の人々の不安定な生活の現状やその歴史的背景について正しく理解させたい。
- (2) 【判断力】 第3時ではアフリカ州の抱える課題が旧宗主国をはじめとした先進国との関係に結びついていることに気付かせ、先進国に住む者としての取るべき態度について考えさせたい。

6 本時の指導

(1) 題目「アフリカの発展をめざして」

(2) ねらい

ア 統計資料から、アフリカの中でも特にサハラ砂漠以南のアフリカに貧しい国が集中していることを理解する。

イ サハラ砂漠以南の国々の貧困の背景について、多面的・多角的にとらえ、人々が貧困から脱却するにはどうしたらよいか考える。

(3) 人権教育の視点

アフリカ州の抱える諸問題の背景について考える活動では、イメージとしてではなく、資料や既習事項を活用して科学的に捉えさせたい。その際、模造紙にまとめる活動をグループで行うことで、他者の意見を尊重し合いながら客観的に判断する能力を身に付けさせたい。

(4) 展開

◎人権教育上の配慮

具体目標	学習活動	教師の支援
学習課題を確認することができる。 アフリカはどのように発展をめざしていくべきか。	1 国名探しゲームを行う。	- 地図に親しみ、関心を持って授業に臨めるようにする。 - なかなか見つけることができない生徒には近くの席の生徒同士で助け合うよう指示する。
サハラ砂漠以南のアフリカに、貧しい地域が集中していることを理解することができる。	2 6枚の統計資料を見て、アフリカ州の特色を自分の言葉でまとめる。	◎アフリカには一日1ドル未満で暮らす人々や5歳未満の死亡率が多いことを確認させ、アフリカの厳しい現実を正しく認識させる。
サハラ砂漠以南の国々が抱える諸問題の背景について考えることができる。	3 サハラ砂漠以南に貧しい国が多い背景について考え、それらを関連させながら図示する。	◎これまでの学習をもとに考えさせ、さまざまな要因が関連し合っていることを科学的にとらえることができるようにする ◎グループで活動することで、多様な意見の存在を知ると同時に、他者の意見を共感的に受け容れることができるよう支援する。
アフリカ諸国のさまざまな課題を解決するためにはどうしたら良いか考えることができる	4 アフリカの発展をめざするためにはどうしたらよいか考える。	- 援助をするということだけでなく、アフリカの自立という視点で考えさせる。 - オープンエンドで第3学年の公民的分野の学習につなげるようにする。

(5) 評価

ア 平均寿命の短い国の分布などから、アフリカの中でも特にサハラ砂漠以南のアフリカに貧しい国が集中していることを理解する。

イ サハラ砂漠以南の国々の貧困の背景について、多面的・多角的にとらえ、人々が貧困から脱却するにはどうしたらよいか考える。

7 授業についての考察

- ・ アフリカ州の現状を具体的な統計資料を示したことで、アフリカ州と世界の国々を比較しながら理解することができた。
- ・ 前時までの学習内容や本時で見た統計資料を活用し、貧しさの背景を互いに関連させながら樹形図にまとめることができた。
- ・ 貧しさの背景を考える際の参考として、前時までの学習内容を振り返ることができるものを用意しておくよかった。
- ・ 樹形図を作成するときに見本となるものを示しておく、どう関連させたらよいのか生徒がわかりやすかったのではないかな。